

令和5年度茨木市SDGs進捗評価シート 1/6

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

① 施策評価結果(令和5年度末)とSDGsゴールの対応関係

施策	評価結果	1 貧困をなくそう	2 質の高い教育をみんなに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国々の平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
1-1	A			○							○	○						
1-2	A			○	○				○			○						
1-3	B				○				○		○	○						
1-4	B	○	○						○		○	○						
1-5	B	○	○	○														
1-6	A			○							○							
2-1	A	○	○	○	○												○	
2-2	B																	○
2-3	B				○													○
2-4	B				○													○
2-5	B	○			○													○
3-1	B				○													
3-2	B			○														
3-3	B				○							○						
3-4	B							○					○					
3-5	B																	○
4-1	A											○		○				
4-2	B											○						
4-3	B											○						
4-4	A	○		○									○					
5-1	B	○	○	○		○			○	○			○					
5-2	B							○				○		○				
5-3	B											○	○	○		○		
5-4	B									○		○						○
5-5	B											○						
6-1	B			○			○					○	○		○			
6-2	B						○							○		○		
6-3	B							○					○	○				○
6-4	B							○					○	○				
7-1	A				○							○						○
7-2	A											○					○	○
7-3	B																	○
7-4	B				○												○	
7-5	B					○												
7-6	A											○						○
7-7	A																	○

A評価: 施策の方向性に沿って順調に進行している。
 B評価: 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。
 C評価: 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
 D評価: 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている

茨木市 施策評価結果掲載ページ

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kikaku/kikaku/menu/hyoka/index.html>

② SDGsゴール別の施策評価結果

評価結果	1 貧困をなくそう	2 質の高い教育をみんなに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国々の平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
A評価の施策数	2	1	5	3	0	0	0	1	0	2	6	1	1	0	0	2	4
B評価の施策数	4	3	4	7	2	2	3	4	2	4	10	6	5	1	2	1	7
C評価の施策数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D評価の施策数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴール別評価	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B

※ゴール別評価については、施策評価においてA評価がB評価よりも多い場合は「A」を、そうでない場合は「B」とする。

令和5年度茨木市SDGs進捗評価シート 2/6

(2) 令和5年度施策評価結果に基づくSDGsゴール別の達成度内訳



ゴール1 貧困をなくそう

1-4	生活困窮者への支援を推進する	B
1-5	健康づくりや地域医療を充実する	B
2-1	すべての子どもの育ちを支援する	A
2-5	青少年の心豊かなたくましい成長を支援する	B
4-4	消費者教育を推進する	A
5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B



ゴール2 飢餓をゼロに

1-4	生活困窮者への支援を推進する	B
1-5	健康づくりや地域医療を充実する	B
2-1	すべての子どもの育ちを支援する	A
5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B



ゴール3 すべての人に健康と福祉を

1-1	地域福祉を推進する	A
1-2	高齢者への支援を推進する	A
1-5	健康づくりや地域医療を充実する	B
1-6	社会保険制度を安定的に運営する	A
2-1	すべての子どもの育ちを支援する	A
3-2	みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する	B
4-4	消費者教育を推進する	A
5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B
6-1	いごちのよい生活環境をたもつ	B



ゴール4 質の高い教育をみんなに

1-2	高齢者への支援を推進する	A
1-3	障害者への支援を推進する	B
2-1	すべての子どもの育ちを支援する	A
2-3	「生きる力」を育む教育を推進する	B
2-4	魅力ある教育環境づくりを推進する	B
2-5	青少年の心豊かなたくましい成長を支援する	B
3-1	生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する	B
3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する	B
7-1	まちの魅力を市内外に発信する	A
7-4	人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす	B



ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B
7-5	市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす	B



ゴール6 安全な水とトイレを世界中に

6-1	いごちのよい生活環境をたもつ	B
6-2	バランスのとれた自然環境をつくる	B



ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

5-2	地域特性をいかした計画的な都市づくりを推進する	B
6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす	B
6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる	B



ゴール8 働きがいも経済成長も

1-2	高齢者への支援を推進する	A
1-3	障害者への支援を推進する	B
1-4	生活困窮者への支援を推進する	B
3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりを推進する	B
5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B



ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう

5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B
5-4	時代の変化に対応した官民連携による都市づくりを推進する	B



ゴール10 人や国の不平等をなくそう

1-1	地域福祉を推進する	A
1-3	障害者への支援を推進する	B
1-4	生活困窮者への支援を推進する	B
1-6	社会保険制度を安定的に運営する	A
7-4	人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす	B
7-5	市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす	B



ゴール11 住み続けられるまちづくりを

1-1	地域福祉を推進する	A
1-2	高齢者への支援を推進する	A
1-3	障害者への支援を推進する	B
1-4	生活困窮者への支援を推進する	B
3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する	B
4-1	災害への備えを充実させる	A
4-2	消防・救急体制を充実強化する	B
4-3	防犯や多様な危機への対策を強化する	B
5-2	地域特性をいかした計画的な都市づくりを推進する	B
5-3	良好で住みよい都市づくりを推進する	B
5-4	時代の変化に対応した官民連携による都市づくりを推進する	B
5-5	暮らしと産業を支える交通を充実させる	B
6-1	いごちのよい生活環境をたもつ	B
7-1	まちの魅力を市内外に発信する	A
7-2	社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する	A
7-6	地域コミュニティを育み地域自治を支援する	A



ゴール12 つくる責任つかう責任

3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりを推進する	B
4-4	消費者教育を推進する	A
5-1	地域産業を基盤強化し雇用を充実する	B
5-3	良好で住みよい都市づくりを推進する	B
6-1	いごちのよい生活環境をたもつ	B
6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす	B
6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる	B



ゴール13 気候変動に具体的な対策を

4-1	災害への備えを充実させる	A
5-2	地域特性をいかした計画的な都市づくりを推進する	B
5-3	良好で住みよい都市づくりを推進する	B
6-2	バランスのとれた自然環境をつくる	B
6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす	B
6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる	B



ゴール15 陸の豊かさを守ろう

5-3	良好で住みよい都市づくりを推進する	B
6-2	バランスのとれた自然環境をつくる	B



ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

2-2	地域ぐるみの子育てを推進する	B
2-4	魅力ある教育環境づくりを推進する	B
2-5	青少年の心豊かなたくましい成長を支援する	B
3-5	都市間の交流と国際化を推進する	B
5-4	時代の変化に対応した官民連携による都市づくりを推進する	B
6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす	B
7-1	まちの魅力を市内外に発信する	A
7-2	社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する	A
7-3	地域社会の発展に貢献できる職員を育成する	B
7-6	地域コミュニティを育み地域自治を支援する	A
7-7	多様な主体による協働のまちづくりを推進する	A



ゴール14 海の豊かさをまもろう

6-1	いごちの良い生活環境をたもつ	B
-----	----------------	---



ゴール16 平和と公正をすべての人に

2-1	すべての子どもの育ちを支援する	A
7-2	社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する	A
7-4	人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす	B

・地方創生SDGsに積極的に取り組む地域事業者等と連携し、自律的好循環(将来的に補助金による支援に頼らず、持続可能な取組として自走すること)の形成へ向けた登録や認証の制度の構築といった取組等について、検討や具体化を進めているか

(3)自律的好循環の形成に向けた制度の構築等

民間事業者との連携については、本市と共に地域の課題解決や活性化に向けて取り組む意志をもつ事業者との間で、包括連携協定を締結し、市政全般にわたってのパートナーシップ関係を構築しています。令和5年度は新たに2社(第一生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社)と締結した結果、計9社となりましたが、いずれの締結事業者とも定期的な意見交換の場を設け、実効性ある取組を推進しました。また、事業者が有する強みや資源を活かした公民連携提案を積極的に募集・活用する「公民連携民間提案制度」を令和5年4月に立ち上げました。

次に、大学との連携に関しては、市内大学の地域連携担当者が一堂に会する意見交換会「大学連携プラットフォーム会議」を定期的で開催し、市と大学だけでなく、大学間での連携が進むための、ハブとしての役割を果たしています。なお、上記会議は、これまで市内大学のみで実施していたものですが、新たに市外の連携大学(大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学)にも参画いただくなど、さらなる連携の輪の拡大にも努めたところです。

以上のような各主体との「共創」は、自律的好循環を形成し、持続可能なまちづくりにつながるものであり、今後も連携相手方の意見を聞きながら取組を推進していきます。

(4)「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

本市は、総合計画等の推進によりSDGsの達成に貢献することを基本に、多様な主体とのパートナーシップのもとで様々な施策に取り組んでいるところであり、令和5年度時点において、各施策は「順調」又は「おおむね順調」に進んでいます。

令和5年度は、大阪府の「私のSDGs宣言プロジェクト」に参画したほか、「OSAKA KANSAI SDGs FORUM」などへの参加を通じて、さまざまなステークホルダーと情報交換や連携を図ることができました。

また、SDGsの理念等の普及・啓発のための取組として、施策の立案・展開にかかわる職員一人ひとりがSDGsに関する認識を深め、日々の業務に取り組むことが重要との認識から、令和4年度に引き続き若手職員向けにSDGs研修を実施しました。さらに、市民の皆さまへの普及・啓発の取組としては、イオンモール茨木と連携し、多様な主体のSDGs推進に向けた取組をPRする「SDGsフェス」の取組のなかで、オープンを控える『文化・子育て複合施設 おにクル』や『ダムパークいばきた』について、SDGs推進の観点から、積極的に周知啓発を行いました。

以上を踏まえ、自治体SDGsの推進に向けた本市の取組は概ね順調に進んでいるもの捉えています。今後とも、SDGsを共通言語として、多様な主体との「共創」に向けた取組を推進していきます。

(5) 令和5年度施策評価における主な参考指標

1 健康と長寿を つくりだそう	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
生活習慣病重症化予防事業の新規開始人数	人	30	62	R5	24
特定保健指導実施率(終了率)	%	67.0	60.0	R5	60.0
待機児童者数(各年度4月1日時点)	人	0	0	R5	0
茨木市青少年健全育成事業補助金交付団体数	団体	55	64	R5	80
消費生活相談件数	件	2,548	2,360	R6	2,600
正規雇用促進奨励金交付件数	人	27	21	R5	34

2 貧困を ゼロに	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
生活困窮者自立相談支援事業における支援プラン作成件数	件	101	68	R7	900
アスマイル登録者数	人	15,510	17,539	R5	15,126
子育て短期支援事業の利用日数	日	58	55	R6	133
就労支援事業(生保)を利用した人	人	112	137	R5	130

3 すべての人に 健康と福祉を	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
専門的な相談支援体制	か所	38	38	R5	38
地域包括支援センターの整備	か所	14	14	R5	14
市国保加入者に対する特定健診受診率	%	31.4	31.6	R5	35.9
ケアプラン点検(個別面談)	件	203	206	R5	200
妊婦面接の実施率	%	100	100	R6	100
市と市内の競技団体の共催によるスポーツ大会参加者数	人	10,340	10,419	R5	13,000
出前講座・啓発イベントの参加、視聴者数	人	4,511	5,387	R6	4,500
働きやすい職場づくり推進事業所認定数	か所	6	6	R5	10
環境保全協定の締結率	%	100	100	毎年度	100

4 質の高い教育を みんなに	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
地域ケア会議	回	84	88	R5	84
地域生活支援事業の支給決定数	人	1,348	1,384	R5	1,351
奨学金(高等学校等入学支度金)支給人数	人	161	146	-	-
不登校児童・生徒支援室への入級希望者数	人	114	119	R6	80
授業でICT機器を活用する教員の率	%	82	84	R6	86
上中条青少年センター主催事業参加者数	人	871	1,124	R5	1,000
社会教育関連講習講座の参加者数	人	973	1,293	R5	1,100
川端康成文学館入場者数	人	9,334	6,093	R6	9,000
市公式SNSの総登録者数	件	20,923	22,526	R5	21,500
いのち・愛・ゆめセンターの総利用者数(延べ人数)	人	90,423	91,526	R5	80,000

5 ジェンダー平等を 実現しよう	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
働きやすい職場づくり推進事業所認定数	か所	6	6	R5	10
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方に「反対・どちらかといふ反対」という人の割合(意識調査)	%	-	-	R9	性75.0 男性75.

6 安全な水とトイレ を世界中に	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
公共下水道の人口普及率	%	99.5	99.5	R5	99.5
花と緑の街角づくり推進事業の参加者数	人	1,809	1,802	R5	1,800

7 エネルギーを みんなにそしてクリーンに	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
都市計画決定・変更等の案件	件	5	2	-	-
再生可能エネルギー導入件数(累計)	件	7,000	7,800	R5	7,500
市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源物を除く)	g/人・日	424	406	R7	392

令和5年度茨木市SDGs進捗評価シート 5/6



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
シニアいきいき活動ポイント事業の活動延べ人数	人	9,984	7,949	R5	10,000
障害者就労支援施設から一般就労への移行者数	人	71	-	R5	64
生活困窮者自立相談支援事業における新規相談件数	件	1,114	888	R7	900
「いばらき観光ウォーク」参加者数	人	340	332	R5	440
雇用・労働関係セミナーの参加者数	人	60	72	R5	80



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
先端設備導入計画の制度利用件数	件	8	5	R5	15
市内駅乗降客数	万人/日	28	-	-	-



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
高齢者・障害者の権利擁護支援に関わる機関の設置数	か所	24	24	R5	24
障害者就労施設の平均月額工賃額	円	12,452	-	R5	14,490
学習・生活支援事業参加率	%	96	90	R5	100
年金相談実施状況	件	18,259	17,670	R5	18,259
いのち・愛・ゆめセンターにおける相談件数	件	1,659	1,984	R5	2,000
女性に対する暴力防止の啓発や講座の実施回数と参加人数	回/年・人	9・230	10・562	R9	10・650



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
ボランティアセンターでのボランティア登録者数	人	1,054	953	R5	1,200
認知症カフェ登録数	か所	24	24	R5	30
重度障害者福祉タクシー利用券の1人あたり利用額	円	7,507	7,542	R5	7,500
生活保護受給者(40~74歳)の健康増進健診の受診率	%	9.1	10.5	R5	12
文化振興イベント参加者数	人	12,925	28,236	R6	24,000
自主防災組織率	%	95	95	R6	100
普通救命講習会等の講習時間	時間	5,800	6,692	毎年度	9,000
全刑法犯認知件数(1月から12月)	件	1,583	2,062	-	-
細街路計画に沿った道路の整備件数の割合	%	44.0	53.3	R6	70
道路特定事業(生活関連経路)整備路線数	路線	19	19	R7	55
住民・事業者との勉強会等	回	45	41	-	-
維持補修済みの橋梁数	橋	54	55	R5	57
環境保全協定の締結率	%	100	100	毎年度	100
ふるさと寄附金の寄附件数	件	7,395	8,144	R5	8,000
行政手続のオンライン化状況	%	55.9	66.3	R5	100
地域自治組織の結成数	団体	15	17	R6	16



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
阪急沿線観光あるき ウォーキングアプリにおける茨木市作成コースの踏破回数	回	359	268	R5	350
あっせん解決率	%	92.0	88.8	R6	87.5
商店街・事業者連携による地域生活支援や活性化に向けた取組件数	件	7	9	R5	10
空家等対策協議会	%	2	2	R5	3
事業所における化学物質排出量	t	356	-	各年度	前年度未満
市管理街路灯のLED化率	%	99	99	R5	100
資源物回収量	t	11,178	10,427	R7	15,171



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
下水道による浸水対策達成率	%	41.3	41.7	R6	42.6
彩都東部地区内の操業施設数	ha	14	15	-	増加
市営住宅の耐震化及び外壁・防水工事が完了した住棟の割合	%	94	100	R6	100
工コ農産物栽培面積	ha	14	16	R8	18
市民1人あたりの温室効果ガス年間排出量(把握している直近2か年の実績値を記載)	t	4.89(R2)	4.89(R3)	R12	4.08
事業系ごみ年間排出量	t	45,677	45,003	R7	44,266



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
事業所における化学物質排出量	t	356	-	各年度	前年度未満

令和5年度茨木市SDGs進捗評価シート 6/6



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
再整備した公園の数	か所	4	4	R5	4
生きものや自然に関する学習機会への参加者数	人	4,208	4,168	R5	4,500



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
相談から支援につながった割合	%	100	100	各年度	95
行財政改革指針に沿って実施した経費節減・歳入確保の効果額(土地売却益を除く)	百万円	153	212	R5	200
非核平和展の来場者数	人	1,011	980	R6	2,500



	単位	参考指標実績値		参考指標目標値	
		R4	R5	年	目標値
ファミリー・サポート・センター援助会員数(両方会員含む)	人	413	398	R6	454
家庭教育関連事業の参加者数	人	1,506	1,523	R5	1,300
青少年が行事の一部を担当した割合	%	77	73	R5	75
通訳(翻訳)ボランティア派遣数	件	54	31	R5	40
北部地域における交流人口	人	130,705	151,376	R5	135,000
環境イベント等各種普及啓発事業への参加者数	人	4,100	5,200	R5	5,000
各種団体との連携数(学校園、地域団体、出前授業)	回	8	10	R5	8
広告事業による効果額(歳入及び経費削減)	千円	12,204	12,580	R6	11,000
職場主催研修実施回数	回	66	91	R5	120
コミュニティセンター利用者数(延べ)	人	472,249	532,102	R6	654,000
いばらき×大学連携共同研究事業の提案数	件	16	3	各年度	5